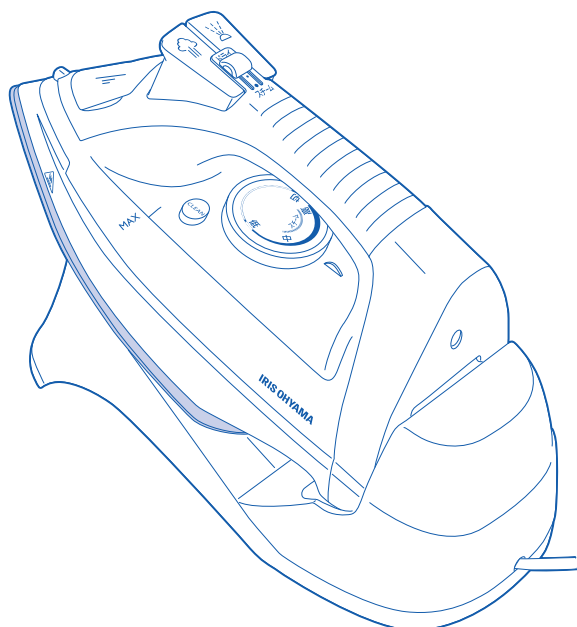


コードレス スチームアイロン IRN-CL30C

取扱説明書



この商品は海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店から受け取ってください。
- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。

もくじ

ご使用の前に

| | |
|---------------------|---|
| 安全上の注意 | 2 |
| 使用上のお願い..... | 5 |
| 各部の名称 | 6 |
| 絵表示の見かたと温度の関係 | 7 |

取り扱いかた

| | |
|--------------|----|
| 使いかた | 8 |
| 上手な使いかた..... | 11 |
| お手入れ..... | 12 |

こんなときには

| | |
|-------------------|-----|
| 故障かな?と思ったら..... | 14 |
| 仕様..... | 15 |
| 保証書 | 裏表紙 |
| 保証とアフターサービス | 裏表紙 |

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号
です。



禁止を示す記号
です。



必ず行うことを示す記
号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を
負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶
縁不良になり、火災・感電の原因
になります。
- 電源は、交流100V、定格15A以
上のコンセントを単独で使う
- 電源プラグはコンセントの奥まで
確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因
になります。
火災の原因になります。



プラグを抜く

- 使用後は必ず電源プラグをコンセ
ントから抜く
感電やけがの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源
コードを持たずに必ず電源プラグ
を持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電
の原因になります。



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけどや火災の原因にな
ります。電源コードは、必ずのば
して使用してください。
- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コード
を引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げ
る、引っ張る、ねじる、重いもの
を載せる、挟み込むなどしないで
ください。
電源コードが破損し、火災・感電
の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだ
り、コンセントの差し込みがゆる
いときは使わない
ショートによる火災・感電の原因
になります。電源コードが破損し
たときは、修理専用コールへお問
い合わせください。
- 乳幼児にプラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差し
をしない
感電・やけど・けがの原因になり
ます。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールへお問い合わせください。



- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 触れるとビリビリ電気を感じる
 →使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 使用時や使用後は、本体をスタンドに確実にセットする
火災の原因になります。



- 取扱説明書に記載した以外の使いかたをしない
火災・やけど・感電・けがの原因になります。
- 子供や取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
感電・けが・やけどの原因になります。
- アイロンに損傷のある場合は使用しない
- 通電中はアイロンから離れない
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で使用しない
感電やショートによる火災などの原因になります。



水ぬれ禁止

- 本体に水をかけない
- 本体を水洗いしない
火災・感電の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 湿った衣類（霧吹きした衣類）は「ドライ」でアイロンをかける
「スチーム」でアイロンをかけると、湯滴が出てやけどの原因になります。
- コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してショットをかける
衣類を傷める原因になります。



- 衣類の絵表示より高い温度目盛でアイロンかけをしない
- 皮革製品・絹などにはスチームをかけない
衣類を傷める原因になります。
- 家庭での衣類以外には使用しないでください。
けがや物的損害、故障の原因になります。

安全上の注意 つづき



- アイロン内部にピンや針金などを入れない
- 衣類に縫い針などをさしたまま、アイロンかけをしない
- スタンドの接点にピンやごみを付着させない
感電・火災・やけどの原因になります。
- スタンドを激しく動かさない
アイロンがスタンドから飛び出したり、電源コードが巻き付いたりして、感電・けが・やけどの原因になります。
- アイロンを傾けたり、前後に激しく動かしたり、落としたりしない
かけ面先端は細くとがっているため、床面が傷ついたり、けが・やけど・水もれの原因になります。
- 使用中・使用後しばらくは、電源コードをアイロンに巻き付けない
電源コードが破損して火災・感電の原因になります。
- 電源コードがねじれたままで収納しない
電源コードに負荷がかかり断線し、ショートによる火災や感電などの原因になります。



- 熱いスチームやショットを手やひざなどにかけない
- 着用したままの衣類にスチームやショットをかけない
やけどのおそれがあります。
- ショットボタンを連続して速く操作しない
湯滴が出て、やけどや衣類をよごす原因になります。
2秒間隔より速く操作しないでください。
- ショットの勢いが弱くなったらショットボタンは操作しない
湯滴が出てやけどの原因になります。
- 水道水以外の液体（蒸留水や井戸水、ミネラルウォーター、リネンウォーターのような香料を含んだ水など）をタンクに入れない
故障や、衣類の汚損の原因になります。
- アイロンの近くで可燃性ガスが発生するもの（ベンジンなど）を使わない
火災の原因になります。



接触禁止

- 高温部（かけ面など）に触れない
やけどの原因になります。

使用上のお願い

■ アイロンの故障・破損などを防ぐために

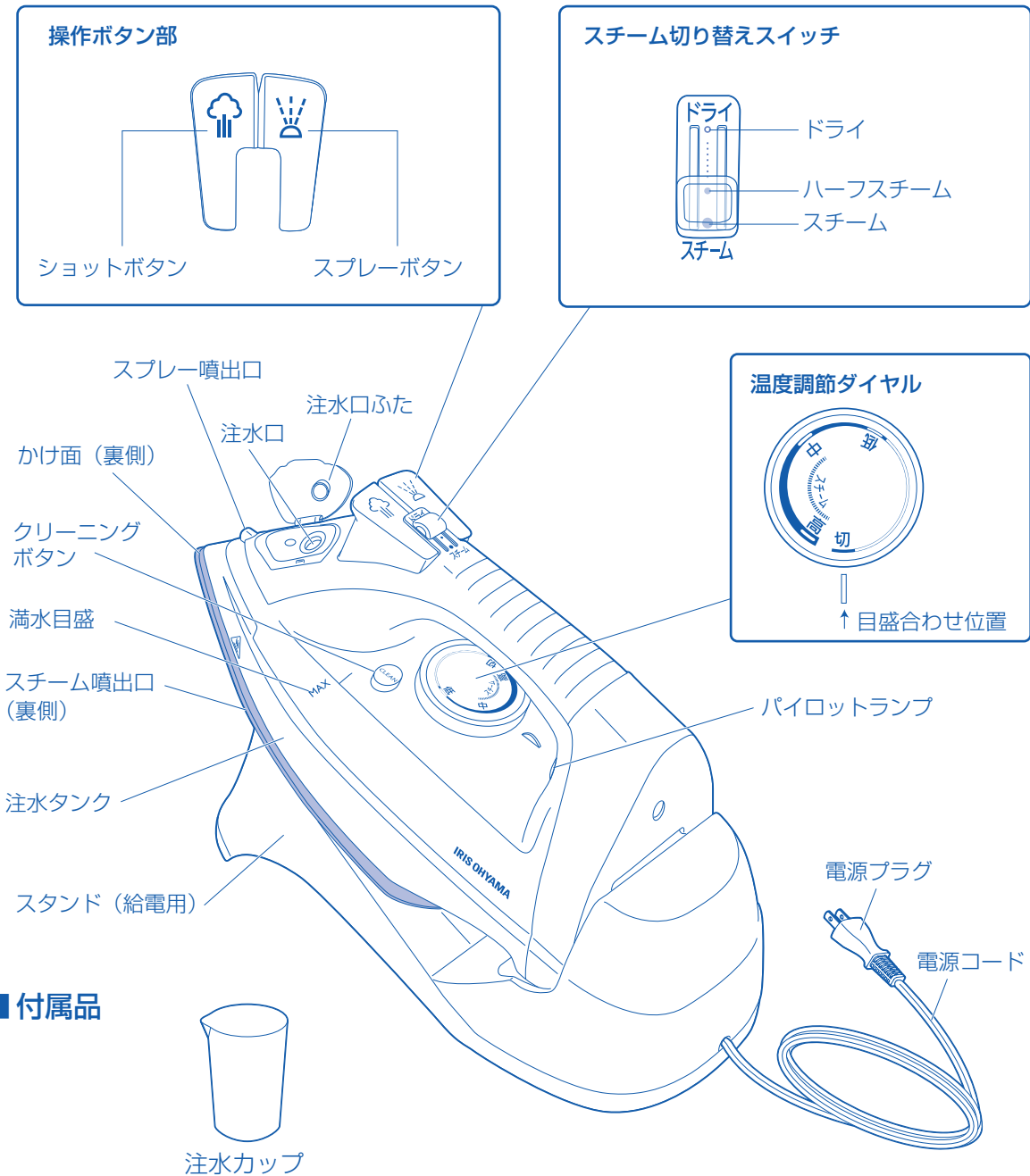
- ハンドルは、強い力で押さえずぎないでください。
破損の原因になります。
- かけ面をスタンドにぶつけないでください。
かけ面が変形したり、コーティングに傷が付きまます。
- 脱水直後の衣類はアイロンかけをしないでください。
蒸発した水分がアイロン内部に入り、故障の原因になります。
- 直射日光の当たるところに置かないでください。
割れ・変色の原因になります。
- ボタン、ファスナーなどのかたいものにはアイロンをかけないでください。
かけ面に傷が付く原因になります。
- 市販品のあて布用アタッチメント（かけ面カバー）は使用しないでください。
故障の原因になります。
- ベンジン・シンナー・アルコールなどでふかないでください。
故障・損傷の原因になります。

■ 衣類のよごれ・傷みなどを防ぐために

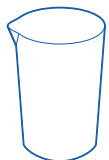
- スプレーのりは、シリコン系成分が配合されたものを使用し、「ドライ」で仕上げてください。
シリコン系成分が配合されていないのりを使用したときは、かけ面にのりが付着して茶色く変色し、すべりが悪くなります。かけ面のお手入れをしてください。
かけ面にのりが付いていると、衣類のよごれの原因になります。
- 高級品や特殊加工品などは、目立たないところでためしがけをしてください。
ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミアなどは特に注意してください。
- アププリケや接着芯などを接着するときや、布地のてかりを防止するときは、「あて布」をしてください。
温度設定を「高」にし、スチーム切り替えスイッチを「ドライ」にして、「あて布」をしてください。
アププリケなどに説明書が添付されているときは、その説明書にしたがってください。

各部の名称

■ 本体



■ 付属品






注水カップ

コードレスアイロンとは？







アイロンをスタンドに置くと、ヒーターに通電してアイロンのかけ面に熱を蓄え、かけるときにその余熱を利用します。

アイロンかけ中はかけ面の温度が徐々に下がりますので、「衣類を整えているとき」などアイロンを使用していないときは、アイロンをスタンドに戻し給電しながら使用してください。

絵表示の見かたと温度の関係

| 温度目盛 | 低 | 中 | 高 |
|--------------|---|---|---|
| スチーム | × | ○ | ○ |
| スチームショット | × | × | ○ |
| ドライ | ○ | ○ | ○ |
| 絵表示※ |  |  |  |
| かけ面の温度 | 約110℃ | 約150℃ | 約190℃ |
| 設定温度になるまでの時間 | 約30秒 | 約50秒 | 約70秒 |

※2016年12月1日以降発売される商品の絵表示は、順次右側のものになります。

| | | |
|-------------|---|------------------------------|
| 絵表示の 見かた |  /  | あて布使用 指定された温度であて布をする意味です。 |
| |  裏から /  裏から | 指定された温度で布地の裏からかける意味です。 |
| |  /  | アイロンかけはできません。 |
| | その他「スチーム禁止」などの表示がある場合はその指示にしたがってください。 | |

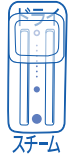
- 衣類に絵表示がある場合は、絵表示に合わせてください。
- 混紡の場合は、指定温度の低いほうに合わせてください。
- ビニロンに湿り気を与えてアイロンをかけないでください。
- 衣類の同じ部分にアイロンを当て続けたり、極端にゆっくりとアイロンをかけたりすると、布地に合った温度目盛でも布地を傷めることがありますので気をつけてください。
- 熱に弱い繊維（化繊・絹・毛など）にアイロンをかけるときは「ためしがけ」をするか「あて布」をしてください。

使いかた

■ 準備

1 温度調節ダイヤルを切に合わせる

- 温度調節ダイヤルを切に、スチーム切り替えスイッチをドライに合わせます。



温度調節ダイヤル スチーム切り替えスイッチ

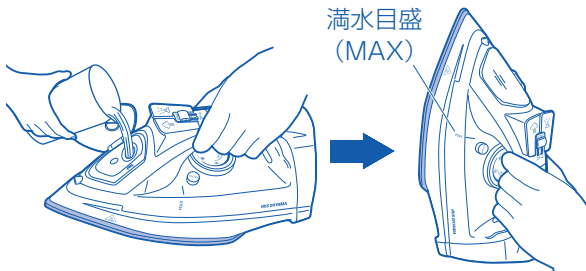


注意

- 使用する前に、スチーム切り替えスイッチを必ずドライの位置に合わせてください。ドライ以外の位置で水を入れると、スプレー噴出口から水が出る場合があります。

2 注水口ふたを開け注水タンクに水を入れる

- 付属の注水カップを使用して、満水目盛 (MAX) の位置まで注水タンクに水を注ぎ入れます。
- 注水口ふたを閉じてください。



注意

- 蛇口から直接水を入れしないでください。
- 注水口以外に水がかかった場合は、拭き取ってください。
- 満水目盛 (MAX) 以上の水は入れしないでください。あふれたり漏れたりします。
- 注水タンクには、水道水を入れてください。ミネラルウォーター・アルカリイオン水・リネンウォーターなどの香料を含んだ水は入れしないでください。
- スチームショット・スプレーを使用するときは、注水タンクに水が1/4以上入っている状態にしてください。

※ドライアイロンとして使用するときには、注水タンクに水を入れる必要はありません。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

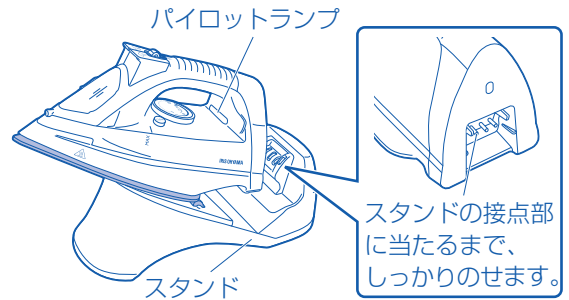


注意

- 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災・故障の原因になります。

■ 給電するとき

- アイロンをスタンドの接点部に当たるように置くと給電します。
 - アイロンを使用しない時や、衣類を直す時は、スタンドに戻してください。
 - パイロットランプが点灯しているときは、消えるまで待ってから使用してください。
- ※温度設定を高い温度から低い温度に変えた場合は、かけ面が冷めにくいいため、適温になるまで時間がかかります。パイロットランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用してください。



スタンド接点部のスパーク (火花) の発生について
コードレスアイロンをスタンドに置くと、電気が通じ、設定温度を保ちます。アイロンをスタンドに「置くとき」または「外すとき」に、スタンドの接点部よりスパーク(火花)が発生することがありますが、異常ではありません。

■ アイロンのかけかた

ドライアイロン

1 温度調節ダイヤルを布地に適した温度に設定する

- ・衣類の取扱い絵表示を確認して設定してください。(P7参照)



- ・通電が始まり、パイロットランプが点灯します。



注意

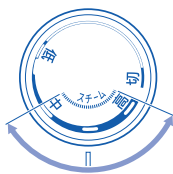
- 混紡の場合は、指定温度の低いほうに合わせて温度設定をしてください。

2 パイロットランプが消灯したら、アイロンを使用する

スチームアイロン

1 温度調節ダイヤルをスチームの範囲内で布地に適した温度に設定する

- ・衣類の取扱い絵表示を確認して設定してください。(P7参照)
- ※スチーム禁止の布地には使用しないでください。



- ・通電が始まり、パイロットランプが点灯します。

2 パイロットランプが消灯したら、スチーム切り替えスイッチをスチーム (●) またはハーフスチーム (・) に設定する

| ハーフスチーム | スチーム |
|----------------|-----------------|
| <p>スチーム</p> | <p>スチーム</p> |
| 薄手の布や混紡などの仕上げに | 厚手の布や綿、麻などの仕上げに |

- ※使い始めのうちは、スチームが出るまで時間がかかることがあります。

- ※スチームの出が悪いときは、ショットボタンを数回押して、スチームを出してください。

また、使い始めは空気とスチームが一緒に出るので大きな音が出ることがありますが、異常ではありません。くり返しスチームを出していると音は小さくなります。

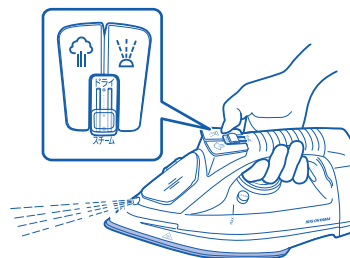
3 アイロンを水平にして、スチームアイロンを使用する

- ・アイロンを水平にすると、スチーム噴出口からスチームが噴出します。

スプレー (霧吹き)

布地に霧吹きをするときに使用します。

- ・アイロンを水平にして、衣類から10cm程度離し、スプレーボタン (☂) を押してください。
- ・スプレー噴出口からスプレー (霧状の水) が噴出します。



- ※スプレーは、スチーム切り替えスイッチがどの位置でも使用できます。



注意

- 目立たないところで試しがけをしてから使用してください。
- 初めてお使いになるときは、数回スプレーを空噴きしてから使用してください。

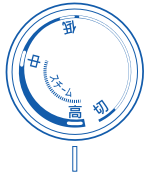
使いかた つづき

スチームショット

強力なスチームで、毛製品のしわのぼしやセーターなどのふっくら仕上げに使用します。

1 温度調節ダイヤルを高にする

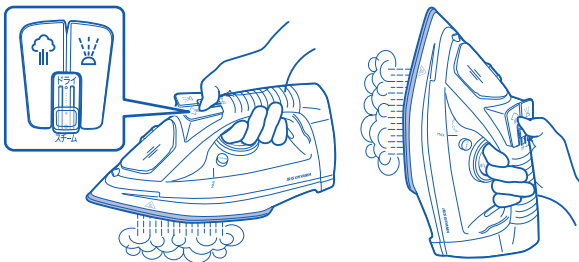
- ・通電が始まり、パイロットランプが点灯します。



2 パイロットランプが消灯したら、ショットボタン (☹) を押す

- ・アイロンは、水平・垂直どちらでも使用できます。
- ・ショットボタン (☹) を押すとスチーム噴出口からスチームが噴出します。

※スチームショットは2秒以上間隔を空けてください。



- 初めて使用するときには、スチームからにおいがすることがありますが、使用にともない出なくなります
- スタンドから外して連続してアイロンができる時間は1～2分です。(使用条件により異なります。高設定/スチーム使用)
- スタンドから外してショット可能な回数は3～5回が目安です。ショットの勢いが弱くなったら、給電してお使いください。
- かけ面の温度が上がらないうち(パイロットランプが消灯しないうち)、または温度調節ダイヤルを低い温度に設定した場合や、かけ面の温度が下がった場合、スチーム噴出口から水や熱湯が噴き出すことがあります。
- 満水時に前後にはげしく動かすと、注水タンクから水がもれることがあるので注意してください。
- アイロンは逆さまにしないでください。水や熱湯がこぼれてやけどをしたり、衣類を汚したりすることがあります。

■ 使い終わったら

1 温度調節ダイヤルを切に、スチーム切り替えスイッチをドライにする

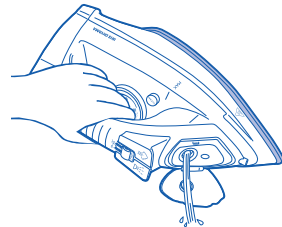


温度調節ダイヤル スチーム切り替えスイッチ

2 電源プラグをコンセントから抜く

3 注水タンクの水を捨てる

- ・本体を逆さにして注水タンクに残った水を捨ててください。



注意

- 内部に残った水は、必ず捨ててください。本体内部の変色やにおいの原因になります。
- 冷えてから排水したときは、温度調節ダイヤルを高に設定し、スチーム切り替えスイッチをドライに設定して、約5分間通電して乾燥させてください。

4 収納する

アイロンをスタンドにのせ、十分に冷ましてから、収納します。



注意

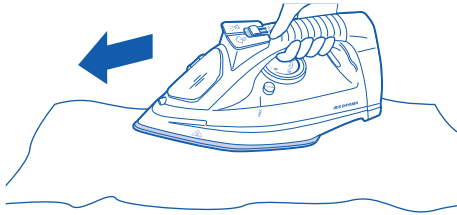
- 使用後は、必ずスチーム切り替えスイッチをドライの位置にあわせてください。スチームやハーフスチームの位置にあると、注水タンクに残った水がもれるおそれがあります。

上手な使いかた

■ アイロンかけの基本

すべらせる

- ・戻りじわをふせぐために、一方向にかけます。



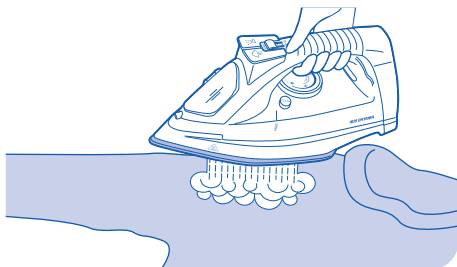
押さえる

- ・がんこなしわ、厚手の布地の折り目などは、しっかり押さえます。



浮かせてかける

- ・ふっくら仕上げには、軽く浮かせてスチームをかけます。



※アイロンをかけるときは、片方の手で縫い目を引っ張ったり、布を押さえたりしながら、両手を上手に使ってください。

- ボタン、ファスナーなどの硬いものにはアイロンをかけないでください。

かけ面のコーティングがはがれる原因になります。

■ 市販の洗濯のりやスプレーのりを使用するとき

スプレーのり

「ドライアイロン」で仕上げます。

- ・パリッと仕上げたいときはスプレーのり→ドライアイロンかけをくり返します。
- ・こげつきを防ぐため、スプレーのりはシリコン系が配合されたものを使用してください。（一度に多量のスプレーのりをかけると、かけ面のこげつきの原因になります。）

洗濯のり

のりづけ後、布地が乾いてから「ドライアイロン」で仕上げます。

- ・しわが取れにくいときはスプレー（霧吹き）を使用してください。（→P9）
- ・かけ面にのりが付着したときは、次のようにお手入れしてください。

すべりがわるくなったときは

- ・かけ面が十分に冷めてから、ぬれた布で拭いてください。
- ※ かけ面にのりが付いていると、衣類の汚れの原因になります。

■ 綿や麻などには霧吹きをしましょう

- ・綿や麻などは、スプレー（霧吹き）をしてから「ドライアイロン」をかけると、きれいに仕上がります。（→P9）

■ 効率のよいアイロンかけをしましょう

- ・アイロンかけの前に衣類を分類し、低温のものから高温のものへ、また、薄地のものから厚地のものへかけます。

■ かけ面に衣類がからみつくとときには

- ・途中でアイロン本体を持ち上げると、軽い衣類は本体に張りついてきます。静電気が発生しているので、衣類の端まですべらせてからアイロンを持ち上げます。

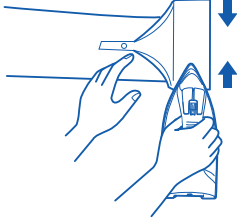
上手な使いかた つづき

■ アイロンかけのポイント

ワイシャツ

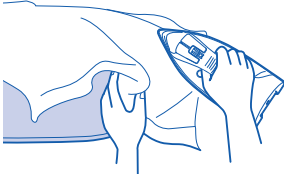
カフス

- ・裏からアイロンをかけます。
- ・ぬい目を引っ張りながら、中心に向かってかけます。



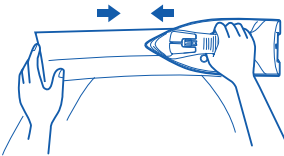
肩・ヨーク

- ・アイロン台の先端を使ってかけます。



えり

- ・ぬい目を引っ張りながら、端から中心に向かってかけます。



セーター

全体の仕上げ

- ・アイロンを浮かせて、全体にスチームショットをかけます。

ズボン

たるんだ部分やのびた部分など

- ・らせん状にスチームショットをかけます。

お手入れ



注意

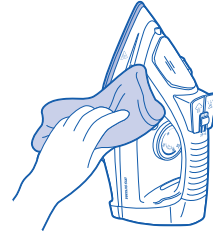
- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体・かけ面が十分に冷めてから行ってください。
- 直接水をかけたり、丸洗いはしないでください。

- 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使用しないでください。表面を傷つける原因となります。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤（シンナー・ベンジンなど）は使用しないでください。表面を傷つける原因となります。

■ アイロン本体

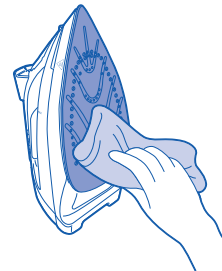
やわらかい布で拭く

- ・汚れが取れにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤分が残らないように、かたく絞った布などで水拭きしてください。



■ かけ面

スプレーのりを使った後や汚れが付着したときは、その都度ぬれた布で拭く



■ スチーム噴出口

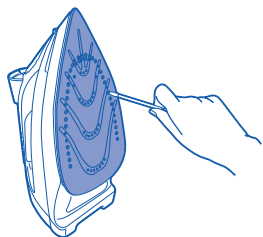
スチーム噴出口に水道水に含まれるミネラル分が付着すると、噴出口が詰まったり、衣類に白い粉が付いたりします。このようなときは、以下のようにお手入れしてください。

1 かけ面全体を濡れた布で吹く

※ 白いかたまりのようなものがある場合は、しっかり拭き取ってください。

2 綿棒などで噴出口の汚れを拭き取る

※ 汚れが落ちにくいときは、綿棒の先を水でぬらして拭き取ってください。



3 注水タンクに水を入れ、電源プラグを接続して、温度調節ダイヤルを高にする

4 ショットボタンを数回押して、汚れを吹き飛ばす

・ スチームがスムーズに出て、汚れや汚い蒸気が出ないことを確認してください。

※ 汚れが飛び散るので、汚れても良い布か流し台の上などで作業してください。

※ 汚れが取りきれないときは、クリーニングボタンを使用してください。

■ クリーニングボタン

アイロン内部にたまった汚れを取り除くため、クリーニングを行ってください。(使用する水質や使用頻度にもよりますが月1回が目安です。)

1 スチーム切り替えスイッチをドライの位置にする

2 注水タンクに2/3程度まで水を入れる

3 スタンドにセットした後、温度調節ダイヤルを高にし2分程度温める

4 アイロンをスタンドから外して、流し台などの上で水平に持ち、クリーニングボタンを押す

5 この状態でアイロンを前後にゆっくり振り、スチーム噴出口からスチームと汚れを排出させる

・ 注水タンクが空になるまで続けると効果的です。

6 アイロンをスタンドに戻し、アイロンを温めて、かけ面を乾かす

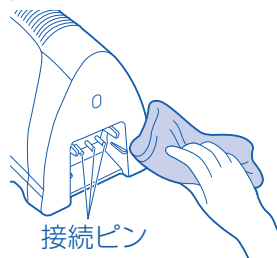


● かけ面から熱いスチームや湯滴が出てきます。やけどなどに十分注意してください。必ず流し台などの上で作業してください。

● スチームではなくお湯が出た場合は、クリーニングボタンを押し、アイロン本体を前後に軽く振りながら、お湯が止まるのを確認して、アイロン本体をスタンドに戻してください。

■ 接続ピンのよごれ

乾いた布で拭く



接続ピン

● 接続ピン・スタンドの接点は紙やすりなどでみがかないでください。接触不良の原因になります。

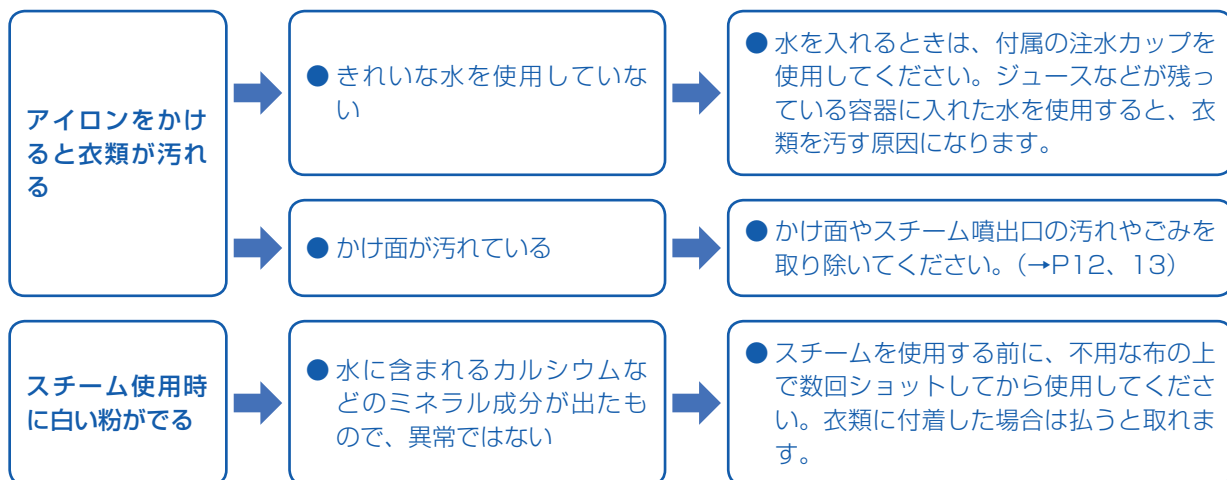


スタンドの接点

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

| 状態 | 考えられる理由 | 処置 |
|----------------------|-----------------------------------|--|
| かけ面が熱くならない | ● 電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていない | ● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 |
| | ● アイロンをスタンドに正しく置いていない | ● スタンドの接点部が接触するように、まっすぐに置いてください。(→P8) |
| スチームが出ない ショットが出ない | ● 注水タンクの水がなくなっている | ● 注水タンクに満水 (MAX) まで水を入れてください。 |
| | ● スチーム切り替えスイッチがドライの位置になっている | ● スチーム切り替えスイッチをスチームまたはハーフスチームの位置に合わせてください。(→P9) |
| | ● 温度調節ダイヤルの位置がスチームの範囲内でない | ● 温度調節ダイヤルをスチームの範囲内に合わせてください。(→P9) |
| | ● スチーム噴出口にごみや水あかがつまっている | ● 綿棒などで噴出口のつまりを取り除いてください。(→P13) |
| | ● 通電直後に使用している | ● パイロットランプが点灯しているときは、消灯するまで待ってください。 |
| 水漏れ・湯滴がでる | ● 低い温度でスチームを使用している | ● 温度調節ダイヤルをスチームの範囲内に合わせてください。(→P9) |
| | ● 連続してショットボタンを押している | ● 温度調節ダイヤルが高の位置で、2秒以上間隔を空けてショットしてください。 |
| アイロンをかけると布地が焦げる | ● 布地に合った温度に設定していない | ● 温度調節ダイヤルを適温に合わせるか、あて布をする。(→P7) |
| | ● 温度調節ダイヤルを高い温度から低い温度に変えた直後に使っている | ● かけ面が冷めにくいいため、温度が下がるのに時間がかかります。パイロットランプが一度点灯した後、再び消灯してから使用してください。 |



それでも解決できないときは
お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

 **警告** ● 自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

| | |
|-----------|---|
| 品番 | IRN-CL30C |
| かけ面処理 | セラミックコート |
| 電源電圧 | AC 100V |
| 電源周波数 | 50 / 60Hz |
| 消費電力 | 1,000W |
| 種類 | スチーム・ドライ兼用 |
| 蒸気発生方式 | 滴下式 |
| 注水量 | 約300mL |
| 自動温度調節器 | 調節範囲 約100℃～約190℃ |
| 温度過上昇防止装置 | 温度ヒューズ |
| 製品サイズ | 本体：長さ305×幅124×高さ145mm スタンド収納時：長さ340×幅130×高さ230mm |
| 製品質量 | 本体のみ：1.0kg 本体スタンド含め：1.4kg |
| 電源コード長 | 約1.5m |

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

コードレススチームアイロン IRN-CL30C

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

| | | |
|-------------------|------------------|---|
| お買い上げ日 ※ 年 月 日 | | 保証期間 お買い上げ日より：1年間 ただし、付属品（注水カップ）を除く |
| お客様 | お名前 | ※販売店 住所・店名 電話（ ） - |
| | ご住所 〒 電話（ ） - | |

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷

- ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 6 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール 通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール 通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは

通話料無料

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください